



総務省

# 総務省におけるICTリテラシー向上に向けた取組

---

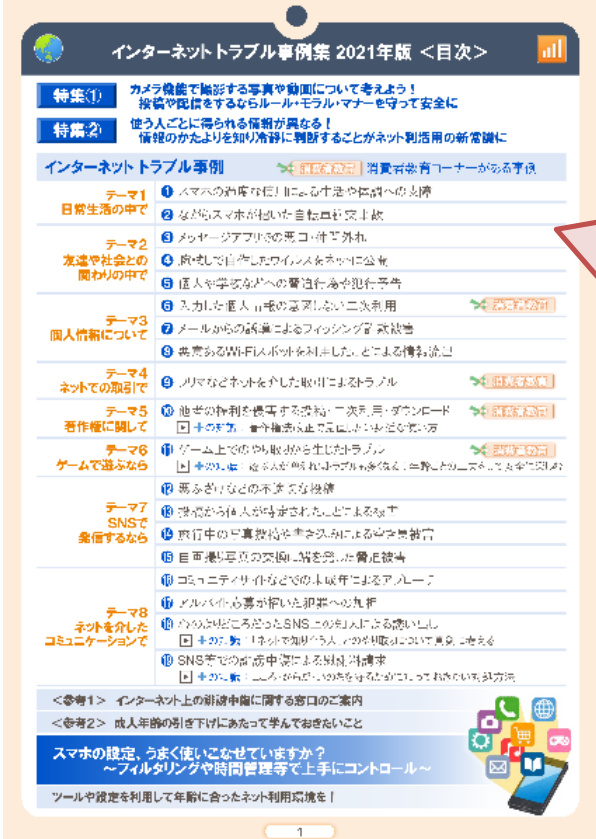
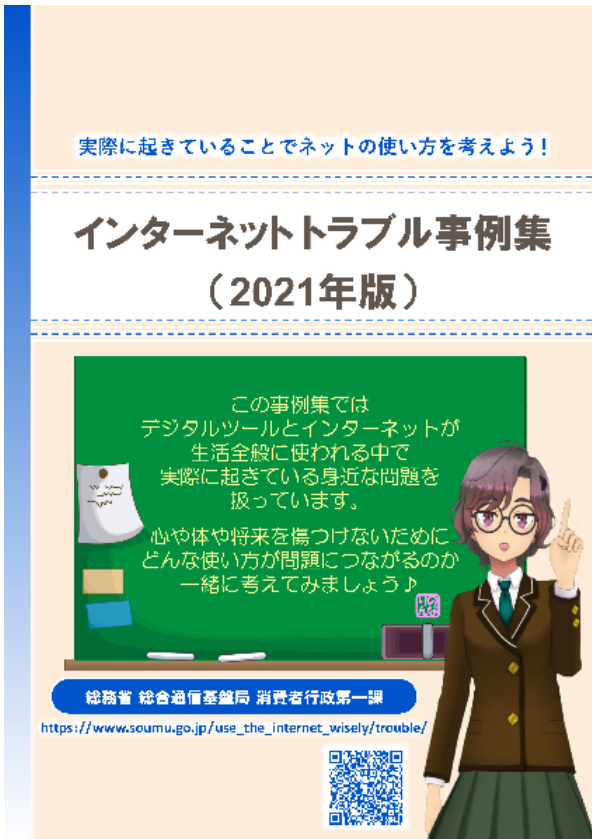
令和3年8月31日

総務省情報流通行政局情報流通振興課情報活用支援室長  
赤間圭祐

- ・インターネットトラブル事例集の公表
- ・安心・安全なインターネット利用に関する啓発サイトの開設
- ・高齢者・低年齢層の保護者向けの啓発教材の作成、公開
- ・青少年がインターネットを安全に安心して活用するためのリテラシー指標(ILAS)等に係る調査
- ・e-ネットキャラバン
- ・情報通信の安心安全な利用のための標語
- ・高校生ICTカンファレンス

# インターネットトラブル事例集

○ 子育てや教育の現場での保護者や教職員の活用に資するため、インターネットに係るトラブル事例の予防法等をまとめた「インターネットトラブル事例集」を2009年度より毎年更新・作成し公表。



2021年版では、著作権やSNS等での誹謗中傷などの各トラブル事例のほか、スマートフォンのフィルタリングや時間管理機能、年齢に合ったネット利用環境等に関するページを収録。

## インターネットトラブル事例集の活用方法

学校の授業、教職員研修、保護者会、相談窓口での相談対応、住民への啓発（広報誌掲載）等、様々な方法で活用可能。総務省のホームページからダウンロード可能。

総務省 トラブル事例集      検索

「上手にネットと付き合いよう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～」  
[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)



# 安心・安全なインターネット利用に関する啓発サイト

- 2021年3月、安心・安全なインターネット利用に関する啓発を目的とした新たなサイト「上手にネットと付き合おう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～」を開設。
- ①未就学児・未就学児の保護者、②青少年、③保護者・教職員、④シニアに向けたコンテンツを掲載。全世代型のICTリテラシーに係る啓発サイトの内容としている。また、「SNS等の誹謗中傷」や「インターネット上の海賊版対策」といった「旬」のトピックを「特集」として掲載。
- イラスト等を用いて分かりやすく解説するとともに、パソコンだけでなくスマートフォンにも対応。

## 《パソコンによる閲覧》



## 《スマートフォンによる閲覧》



「安心・安全なインターネット利用に関する啓発サイト」

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/)



- スマートフォン等の電波利用システムの高度化やその普及に伴い、青少年のみならず、高齢者・低年齢層の安心・安全なインターネット利用を促進していくことの重要性が高まっている。
- このような状況を踏まえ、総務省では、スマートフォン等の電波利用システムを適切に利用するための高齢者や低年齢層の保護者向けの啓発教材に係る調査研究を実施の上、その成果を公開。
- 総務省のインターネット利用に関する啓発サイト「上手にネットと付き合おう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～」において、高齢者・低年齢層向けの啓発教材をスマートフォン等で閲覧しやすい形で掲載。

## トラブル対策ブック (アクティブシニア対象)



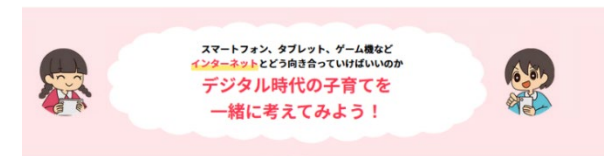
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政第一課

## デジタル時代の子育てを一緒に考えてみよう！ (低年齢層（～6歳程度）の保護者対象)



総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政第一課

## 上手にネットと付き合おう！ ～安心・安全なインターネット利用ガイド～ 全世代向けの啓発教材を見やすい形で掲載。



**第2章 ② まずは設定から見直そう**  
「機能やアプリの設定」は、紛失、誤送信、詐欺対策にもつながります。

**⚠️ スマホの画面をロック**  
もしもスマホが紛失したら、持ち主だけでなく友人・知人の情報まで流出したり悪用されたりします。必ず「**認証設定**」をしましょう。

**画面ロックの例**

- パスワード(英・数・記号の組み合わせ)
- パスコード、PINコード(数字のみ)
- パターン認証
- 指紋認証(Touch ID)
- 顔認証(Face ID)
- など

**ポイント**  
画面ロックを設定した場合であっても、電話の着信応答や緊急連絡は可能です。

**第2章 ⑤ 使わせ方や道具は成長に合わせて**  
水泳や自転車を得習するときのステップを、スマホやタブレットにも！

**練習のステップアップ (例)水泳**  
何かをやりはじめるときは、最初は一緒にやって慣れさせるところからスタートし、大人が見守り安全を保ちながら徐々に練習のレベルを上げ、そして一人前に！

**道具のステップアップ (例)自転車**  
使わせる道具も、成長や上達に伴い、危なくないよう少しずつステップアップ！

**ポイント**  
「大人のための道具」を設定変更もせずそのまま子どもに使わせているのは、スマホやタブレットなどのデジタル機器だけ。「使い方を覚える段階」は安全が第一、ちょっぴり手間でも子どもの成長や上達具合に応じた「使わせる道具」の調整・変更を忘れずに！

**01** スマホからインターネットに接続する方法は？  
Wi-Fi接続、モバイル通信、データ通信の3つの接続方法について解説します。

**02** 使わせたいスマホに設定変更が必要な項目は？  
設定変更が必要な項目は、OSの種類や機種によって異なります。

**03** スマホなどのモバイル機器で利用する通信回線とは？

**04** スマホなどのモバイル機器で利用する通信回線とは？

- スマートフォンが急速に普及し、インターネットがますます青少年にとって身近になる中、**青少年がインターネットを安全に安心して活用するためには、インターネット・リテラシーの向上が必要。**
- 総務省では、利用者視点を踏まえたICTサービスに係る諸問題に関する研究会（青少年インターネットWG）の提言（2011年10月）を受け、青少年のインターネット・リテラシー向上のための前提として、**特にインターネット上の危険・脅威に対応するための能力とその現状等を可視化するため、これらの能力を数値化するテストを指標として開発。**2012年度より毎年、高等学校1年生を対象に、青少年のインターネット・リテラシーを測るテストをインターネット等の利用状況に関するアンケートとあわせて実施。
- **昨年度は、協力を得られた74校の高等学校において、2020年10月から2021年1月にかけてテスト及びアンケートを実施。その結果を集計・分析し、「青少年がインターネットを安全に安心して活用するためのリテラシー指標 (ILAS: アイラス) 等に係る調査結果」として取りまとめた。**

## ■「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」（2009年4月1日施行）

### 【基本理念】

①青少年の適切なインターネット活用能力の習得（インターネット利用に係るリテラシー向上）、②青少年の有害情報の閲覧機会の最小化（フィルタリングの機能向上・普及、関係事業者による取組み）、③民間による自主的・主体的取組、国等による尊重・支援

## ■利用者視点を踏まえたICTサービスに係る諸問題に関する研究会（青少年インターネットWG）提言（2011年10月）

2. 各関係者に求められる役割等（中略）

行政には、**（特にインターネット上の危険への対処に係る）インターネットリテラシーに関する指標を、国際的に比較可能な形で整備し、定期的に公表していくことが求められている。**

## ■青少年のインターネット・リテラシー指標に関する有職者検討会（2011年9月～2012年3月）

教育工学や法学等に知見を有する有識者の方々からのご知見を踏まえ、特に**インターネット上のリスク分類と、これに対応した危険・脅威への対応能力の整理、この能力を明らかにするテストの開発・分析・整理を実施。**

（顧問）堀部政男（一橋大学名誉教授）、渡部洋（東京大学名誉教授）（座長）赤堀侃司（白鷗大学教育学部長・教授）、（座長代理）新井健一（ベネッセ教育研究開発センター長）

## 2020年度ILASの結果（過去結果との比較）

- 全体の正答率(72.0%)は、過去2015年から2019年度までの結果(67.2%~69.7%)を上回っている。
- 項目別の正答率については、いずれの項目においても、過去2015年度から2019年度までの過去5年間の平均を上回っている。なお、「2c. 不適切利用リスク」以外の全ての項目においては、2015年度以降最も高い結果となり、特に「2b. 不適正取引リスク」と「3b. セキュリティリスク」の上昇幅が大きい。

【図表】

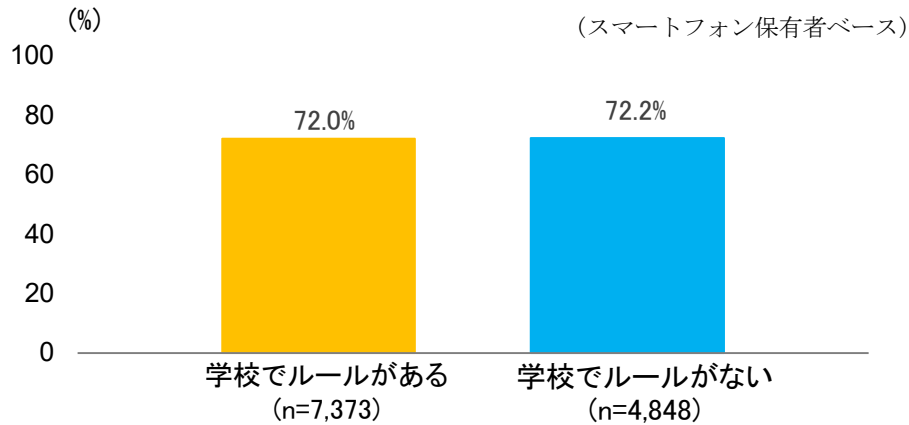
リスク分類	具体例	2015年度 (n=13,647)	2016年度 (n=14,812)	2017年度 (n=17,223)	2018年度 (n=12,626)	2019年度 (n=7,252)	(参考) 過去5年平均	2020年度 (n=12,499)
総 合	-	69.7%	67.2%	68.8%	69.6%	68.7%	68.8%	72.0%
1a. 違法情報リスク	著作権、肖像権、 出会い系サイト等	72.9%	71.8%	73.8%	73.6%	73.4%	73.1%	76.0%
1b. 有害情報リスク	不適切投稿、炎上、 閲覧制限等	68.2%	65.9%	66.8%	67.4%	66.0%	66.9%	69.1%
2a. 不適切接触リスク	匿名SNS、迷惑メー ル、SNSいじめ等	78.3%	75.8%	77.0%	77.1%	76.6%	77.0%	79.3%
2b. 不適正取引リスク	フィッシング、 ネット上の売買等	57.1%	54.6%	56.4%	57.5%	57.3%	56.6%	61.9%
2c. 不適切利用リスク	過大消費、依存、 歩きスマホ、マナー 等	82.4%	77.5%	79.4%	80.2%	78.9%	79.7%	81.5%
3a. プライバシーリスク	プライバシー、 個人情報の流出等	63.9%	60.8%	62.3%	63.9%	62.0%	62.6%	66.2%
3b. セキュリティリスク	ID・パスワード、 ウイルス等	65.3%	64.3%	65.6%	67.4%	66.8%	65.9%	69.9%

# 高校生のインターネット利用実態とILAS結果(クロス集計)

## (学校での学習やルールと家庭でのルール)

- 学校でのインターネット利用についてのルールの有無別では、正答率に大きな違いはない。【図表1】
- 学校でインターネット利用上の危険について、「通常授業の中で教えてもらった」(正答率:72.8%) 「外部の講師等による特別授業の中で教えてもらった」(73.7%)の正答率は高く、「教えてもらっていない」(正答率:61.7%)と比較すると大きな差がある。【図表2】

【図表1】 学校でのインターネット利用ルールの有無と正答率



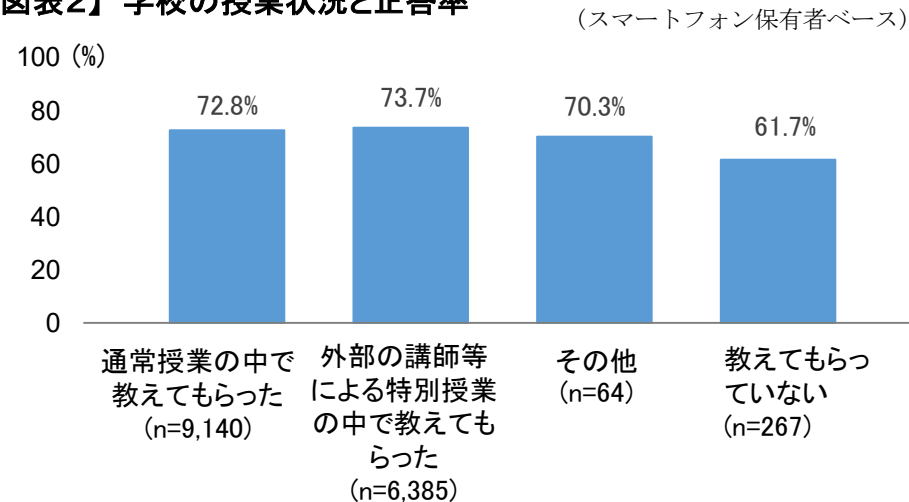
【参考】家庭でのルールの有無及び学校でのルールの有無と正答率

(スマートフォン保有かつフィルタリングを「よく知っている」「多少知っている」と回答した者ベース)

		家庭でのルール	
		○あり	×なし
学校でのルール	○あり	73.9% n=3,786	72.1% n=2,064
	×なし	75.1% n=1,642	72.3% n=2,200

全体の正答率は:72.0% (n=12,499)

【図表2】 学校の授業状況と正答率



(出典) 青少年のインターネット・リテラシーを測るテストと併せて実施したアンケート (対象はいずれも高等学校1年生) の結果を基に作成。



- 子どもたちのインターネットの安全な利用に係る普及啓発を目的に、児童・生徒、保護者・教職員等に対する学校等の現場での無料の「出前講座」を全国で開催。

\* 実施主体：一般財団法人マルチメディア振興センター(FMMC)

- 2020年度は、1,208件の講座を実施し、約14万人が受講。(2019年度：2,660件の講座を実施し、約52万人が受講。2006年度開始以来の実績：23,791件、のべ約382万人)

## 協力団体

通信事業者等の民間企業(479社)、公益法人等(19団体)、政府(総務省及び文部科学省)、自治体(53団体)、その他(59団体)

## 対象者

小学生(小3～小6)、中学生、高校生、保護者、教職員等

## 講座内容

ネット依存、ネットいじめ(誹謗中傷含む)、不確かな情報の拡散、ネット誘引(誘い出し・なりすまし)、ネット詐欺、著作権の侵害等のトラブル事例を用いて、予防策等を啓発。

\* 企業等が講師を派遣。(認定講師数：5,326名)

## 受講方法

従来は集合形式のみだったが、受講方法の選択肢を拡大。2020年11月にFMMCが報道発表。同年12月に総務省・文部科学省の連名で全国に周知文書を発出。

\* 校内の放送設備やWeb会議システムを利用した講座、リモート講座、ビデオオンデマンド講座。

(2020年度は195件実施)



e-ネットキャラバン講座実施の様子

## 1. 概要

情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティ等に関し、**標語を募集し、受賞作品を用いた啓発活動**(※)を行うことを通じ、初心者を含む**情報通信利用者の意識向上を図ることを目的として実施**(2008年度から)。

(※)受賞作品を使用してポスターやしおりを作成し、配布。

[実施団体]情報通信における安全安心推進協議会(会長:篠原弘道 NTT会長)

- (事務局) 一般財団法人マルチメディア振興センター(FMMC)
- (会員) 通信事業者、通信機器メーカー等22企業・団体
- (関係省庁) **総務省**、文部科学省、警察庁、法務省



## 2. 募集及び選考

- 募集：12月～2月 (応募件数：19,654件)
  - 選考：3月～4月 (1次・2次審査で優秀作品を選定し、最終選考会※で表彰作品を選定)
- ※ 有識者、PTA関係者、事業者等、青少年のインターネット利用に係る関係者で構成。  
委員長は豊田充崇和歌山大学教育学部教職大学院教授
- 最も優秀な作品を「総務大臣賞」として選定し、例年6月に表彰式を開催。

### <賞一覧>

- ・ 学校部門：総務大臣賞 1点、各総合通信局長等賞11点
- ・ 個人部門：総務大臣賞 1点、協議会長賞 3点、PTA関連賞 3点、ネット社会の健全な発展に向けた連絡協議会特別賞 2点、企業優秀賞(新設) 3点

# (参考)2021年度最終選考会(結果)

## 総務大臣賞 (学校)

離れよう 怪しいサイトに ディスタンス

(東京都、東京都立美原高等学校)

## 総務大臣賞 (個人)

悪口は ネットもリアルも 傷つくよ

(水谷 明日香 三重県 四日市市三重小学校)

## 総通局長賞

(北海道) クリックで あなたの弱点 丸見えに

(北海道、網走市立第五中学校)

(東北) 少年よ スマホを抱かず (いだかず) 前を見よ

(秋田県、秋田市立城東中学校)

(関東) 密避けて 思い出話も リモートで

(山梨県、山梨県立甲府西高等学校)

(信越) 親子で学ぼう メディアの危険 親子で考えよう **メディアの活用**

(長野県、伊那市西春近北小学校)

(北陸) ネットでも 相手はリアル 思いやり

(福井県、越前町立宮崎中学校)

(東海) タップは一瞬 後悔は一生

(愛知県、名古屋市立山田高等学校)

(近畿) 気がつけば 私の友達 スマホだけ

(兵庫県、神戸市立渚中学校)

(中国) 守りたい ルールとマナーと その笑顔

(広島県、呉市立広南中学校)

(四国) ネットでも 道まちがえたら 身の危険

(高知県、土佐市立宇佐小学校)

(九州) 公開は 後悔しても 変えられない

(宮城県、都城聖ドミニコ学園高等学校)

(沖縄) 時を戻そう SNSでは 通用しない

(沖縄県、那覇市立松島中学校)

ウイルスは ネットもコロナも まず予防

(市川 善志郎 埼玉県 加須市立不動岡小学校)

送らない 自分が言われて いやなこと

(沖津 泰雅 兵庫県 神戸学院大学附属高等学校)

スマホ時間 減らして増やす 家族時間

(西林 香菜 和歌山県 会社員)

『やめられない』 そうなる前に 手をとめて

(久保 颯花 青森県 むつ市立第三田名部小学校)

送るなら 自分も元気に なる言葉

(生田 あずみ 岡山県 岡山市立高島中学校)

「これくらい」 人生狂わす 指一本

(西本 莉空 北海道 帯広大谷高等学校)

目をあげて あなたの友達 スマホだけ?

(奈良 妃春 兵庫県 神戸学院大学附属高等学校)

邪魔じゃない フィルタリングは 親の加護

(内藤 真琴 兵庫県 兵庫県立福崎高等学校)

顔出して 言える言葉を 書き込もう

(上條 直子 東京都 アルバイト)

## 協議会 会長賞

## PTA 関連賞

## ネット協議会 特別賞\*

\*ネット社会の健全な発展に向けた連絡協議会特別賞

# 高校生ICTカンファレンス

ICT活用のあり方について、高校生が自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表することにより、**青少年のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目指すために開催。**

(2011年より実施)

主催 高校生ICT Conference実行委員会(事務局:安心ネットづくり促進協議会 他)

共催 総務省、文部科学省、内閣府、経済産業省、消費者庁

2021年度テーマ

「フェイクを見極める」



2020年度開催日程

## 1 各地域開催 (8~10月 オンライン/実会場)

- ・ワークショップ(議論を重ねる熟議方式)形式で実施。
- ・全国16地域で開催(前年度参加生徒数:360名)し、各地域ごとに代表者を1名選出。

## 2 サミット (11月3日(水・祝)実会場(予定))

- ・各地での議論をもとに、高校生が政府への提言をまとめるための討議を実施。
- ・各地域の代表者が参加。
- ・高校生同士の投票により代表者を2名選出。

## 3 最終報告会 (12月(調整中)実会場(予定))

- ・内閣府※、総務省、文部科学省で高校生2名が提言を発表。

※内閣府においては「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」の場で発表

高校生ICT  
Conference